

平成26年2月

漁業者と市民をつなぐ地域環境保全

～ヨシの刈り取りを通して～



益田川と海をつなぐ
自然環境保全活動組織
(島根県益田市)

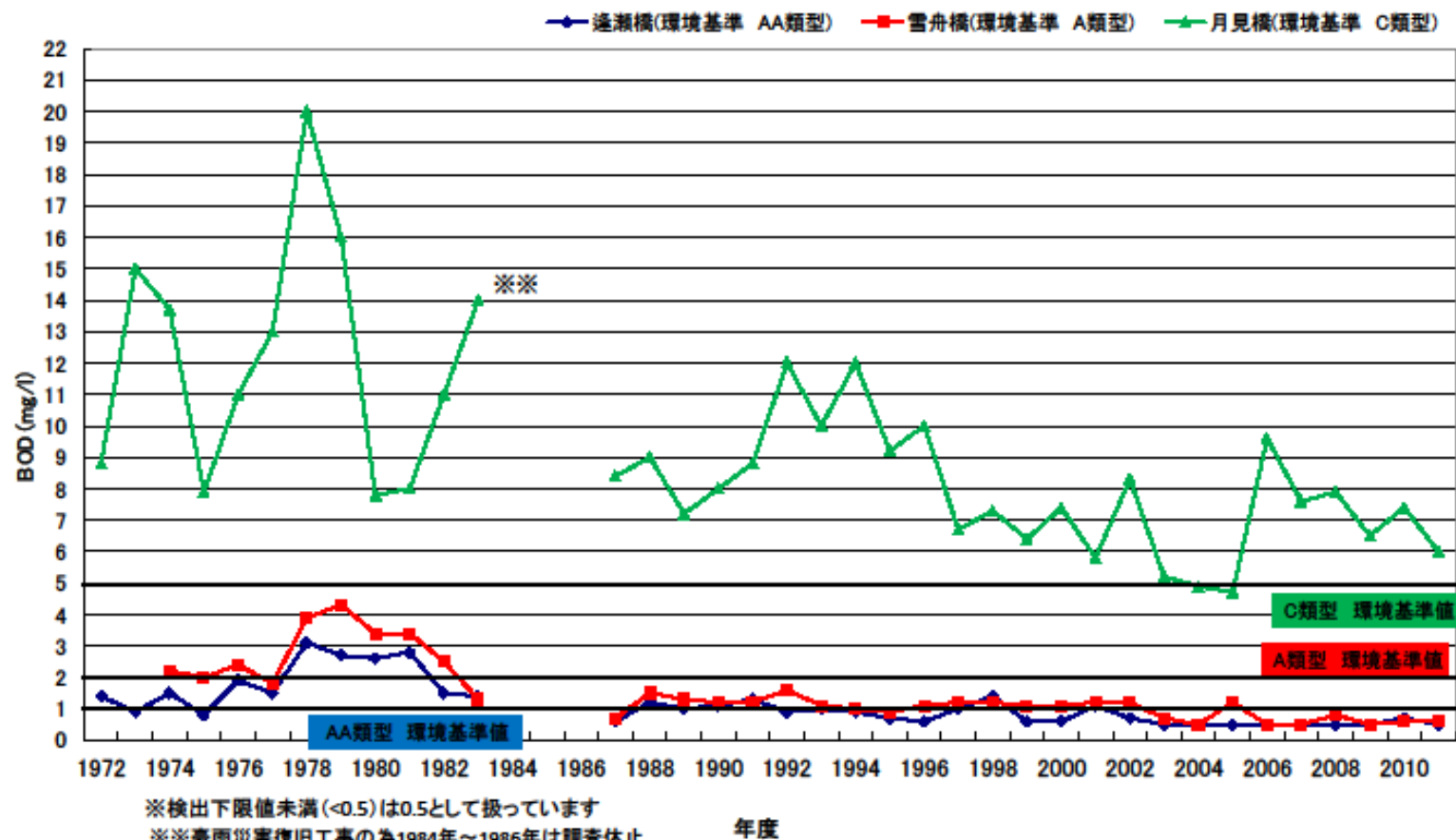
2. 益田川の概要

(二級河川 延長32 km 流域面127 km²)



- 益田川は漁業権なし
- 魚種 アユ、カワムツ、ハゼ、ヤマメ等
- 河口西側海岸でハマグリ漁

益田川水質経年変化グラフ(BOD75%値)



3. 益田川の現状と課題

◆ 現状（市民から見た眼）

- ✓ 市内中心部にあり、市民生活とは身近な存在
- ✓ 清流日本一の高津川との常に比較される
- ✓ 河口部で中世の湊町が発見される

◆ 課題

- ✓ 水環境
- ✓ 住民意識
- ✓ 漁業への影響



4. 益田川と海をつなぐ 自然環境保全活動組織

◆ 設立日、平成25年6月24日

◆ 構成員

- NPO法人 アンダンテ21(40名)
- JFしまね益田蛤の会(11名)
- 津田浦会(23名)

多彩な準構成員

- ✓ 益田市飲食業組合青年部 (20名)
- ✓ 久城・中須自治会関係者 (20名)
- ✓ 益田サーファー協会(10名)
- ✓ 益田市立吉田小学校

(目的)

益田川の環境保全に大きな影響を及ぼす内水面の生態系の維持・保全・改善、ヨシ帯の保全、河口から砂浜にかかる稚貝の密度管理、機能低下を招く生物の除去(腹足類)および教育と啓発の場の提供を図る

5. 活動内容と年間スケジュール等

活動目標(5年計画)

- ◆ 益田川河口部でのシジミの復活
- ◆ 沿岸部でのハマグリ資源維持
- ◆ 漁民と市民との距離を縮める
(市民理解向上)

活動内容

- ① ヨシ帯の刈り取り・間引き
- ② 川の清掃・ゴミ回収
- ③ 稚貝の密度管理
- ④ 機能低下を招く生物の除去
- ⑤ 教育と啓発の場の提供

事業実施エリア

稚貝調査
ツメタガイ駆除
(4.8ha)

約10Km

津田地区

稚貝調査
ツメタガイ駆除(2ha)

ヨシ刈取り(1.5ha)
環境保全(18.9ha)

中須/久城地区

活動状況 (3) 川の清掃・ゴミ回収

2013 Nov.



活動状況 (5)ヨシの刈り取り



2013 Oct.



益田川ビフォー・アフター



(一般参加者の感想)

ゴミの集積場となっていた河口部の景観は良くなった。
水際まで足を伸ばし、水面に触れることができる。

7. ヨシ帯の刈り取り

◆ 刈り取りの目的

- (長期的) 益田川の水質改善・シジミ再生
- (短期的) 景観・ゴミ処理＝市民意識改善＝

◆ 実施にあつたての検討項目について

検討事項	判断項目	実施方法
漁業者の参加	高齢化と専門性	船での運搬、現場状況確認、モニタリング
実施面積	人員と刈り取り能力、技術、道具類	刈り取り作業は業者委託、収集運搬を担当
刈り取り時期	ヨシの生長サイクル、生態系	生長がとまった晩秋時期、再生できる刈り取り高さ
搬出方法	焼却または再利用	半分を農地へ運搬、半分焼却
行政機関住民組織との連携	協働のあり方	ラウンドテーブル開催(課題のシェア、知恵の出し合い)

8. 今後の取り組み方向

平成26年度重点事項

1. 益田川河口部でのシジミの復活ベースづくり
底生生物調査や漁業者によるモニタリングを通して、シジミ再生への生息環境条件を明確化する
2. 沿岸部でのハマグリ資源維持
市民参加型稚貝調査を継続し、ハマグリ資源情報の精度を高め、資源確保に向けて自然環境との関連性を強化する
3. 漁業者と市民との距離を縮める(市民理解向上)
ハマグリを通じた漁業者の生活や課題を市民が共感する機会の提供および環境保全に理解を示す市民との協働事業を拡大する